

平成 28 年度事業報告

I、植樹事業特定資産

- 1、大阪府「中河内府民センター」植栽一式
中河内府民センター正面入り口にシンボルツリーとなる枝垂桜を植えインパクトのある景観を実現した。 (230 万円)
- 2、大阪府「成人病センター」植栽一式
府立成人病センターを建て替え、府立がんセンターとしてスタートするのに合わせ、歩道を拡充してトウカエデ 13 本を植えた。 (530 万円)
- 3、大阪府「生駒山系花屏風」植栽一式
大阪府が地域住民の協働を得て生駒山の植栽を進めて 4 年目を迎えた。四条畷市民と共にサトザクラ、ガクアジサイを植樹する樹木を寄付した。 (60 万円)
- 4、大阪府「佐野高等学校」植栽一式
国連のマークにあるオリーブを府道から正門まで植え、ユネスコ緑の交流広場と名付けてユネスコスクール加盟校として生徒に意識付けを行う手助けを行った。 (240 万円)
- 5、大阪府「狭山水みらいセンター」植栽一式
施設沿道部の植栽を行い地域住民の憩いの場を提供した。 (720 万円)
- 6、大阪府「安威川ダム」植栽一式
3 年後に完成予定のロックフィルダムの景観を作るため、近隣の大門寺の秋のカエデと共に春を楽しんでもらうため桜を植えた。 (100 万円)
- 7、大阪府「桃谷高等学校」植栽一式
正門の植栽が枯れたため、金木犀、ヒラドツツジで校門を飾る。 (60 万円)
- 8、大阪府「堺聴覚支援学校」植栽一式
聴覚に障害を持つ子供たちのためにビオトープを造成し、ハナミズキなどで見て楽しめる環境を作った。 (330 万円)
- 9、大阪府「住吉公園桜広場」植栽一式
樹齢 50 年を超える桜広場の桜の若返りを図るため、とりあえず 20 本の桜の若木を植えた。 (630 万円)

- 10、大阪市「正蓮寺川公園」植栽一式
20年をかけて18.8haを公園化する事業がスタートし、初年度の今年は32種類の樹を507本植樹した。(1200万円)
- 11、大阪市「大阪市立大学田中記念館西側他」植樹一式
樹齢を全うした桜の植え替えやテッポウムシによって枯れ死したカエデの植え替えなどで学内の環境を整えた。(300万円)
- 12、大阪市「緑中学校」植栽一式
校舎の増築工事によって撤去した空き地に新たに梅、桃、ロウバイなど423本の花木を植えた。(250万円)
- 13、大阪市「文の里中学校」植栽一式
校舎の増改築後殺風景になっていた正門周辺を整備し、そよご、ヤマザクラの中木とともに接道部にヒラドツツジを植えて、一昨年隣接する天王寺高校のヒラドツツジと共に目を楽しませる景観を作った。(250万円)
- 14、大阪市「大阪市立大学旧法学部棟西」植樹一式
ワシントンヤシの広場に面する来客の多い建物の正面玄関横に西洋シャクナゲなど花木を植えた。ジャカラダの植樹最適時期を待ったため、昨年度事業が今年度にずれ込んだ。(300万円)

II、緑化事業積立資産

大阪府「中之島にぎわいの森づくり事業」植栽一式

にぎわいの森づくり事業の3年目として進める「木津川遊歩空間」の遊歩道エリア及び入堀埋め立てエリアに中高木を中心とした植栽を実施。近隣のマンションの植栽とも景観を連携し、新しい水辺空間を創出した。(1,000万円)

以上総合計 6,200万円

【内訳】

植樹事業特定資産 5,200万円
緑化事業積立資産 1,000万円